

大きな憧れをいただく大草っ子



# 大草小学校だより 「だいじょうぶ」

第16号 平成30年2月5日(月) 校長 有谷孝彦

学校づくりの合言葉 「大草トライアングル！」 トリプルC

自信 (Confidence) 挑戦 (Challenge) 思いやり (Consideration)



## 「 福 よ 来 い ! 」

立春を過ぎましたが、底冷えのする寒さが身体にこたえます。私は寒さのせい食欲が増し、やや太り気味です。鍋料理やお酒の飲み過ぎなどにはどうぞ御注意ください。

さて、昨年から大草小学校には、節分になると子どもたちの心の中にある弱虫や怠け心などを追い出すために「鬼さん」が出没しております。本当にありがたいことです。



1年生児童は、休み時間から集落センター付近をさまよっている鬼さんを見つけると、どうも学校にやって来そうだと予想し、落ち着かない様子でした。学校に現れた鬼さんたちは、子どもたちの豆まきに協力してくださっていましたが、途中からは鬼ごっこにかわり、本気で子どもたちを捕まえようと息を切らしながらも運動場を駆け回っていました。大草は素晴らしいです！さあ、福よ来い！

あなごね

金子みすゞ

お家の見える角に来て  
おもい出したの、あのこつを。

私はもっと、長いこつ、  
すねていなけりゃいけないの。

だって、母さんはいったのよ、  
「晩までそつしておいで」って。

なのに、みんなが呼びにきて、  
わすれて飛んで出ちゃったの。

なんだかきまりが悪いけど、  
でもいわ、

ほんとはきげんのいいほうが、  
きつと、母さんは好きだから。

## 本物にふれる大切さ

皆さん御存知の「大草太鼓」は、先輩から後輩へと受け継がれる大草小学校独自の伝統芸能です。小学校2年生から6年生までの児童が太鼓に取り組みます。低学年の頃は、お兄ちゃんお姉ちゃんみたいに大きな太鼓をたたきたいなあという憧れをもって取り組んでおります。十数年受け継がれてきてそれなりの良さはあったのです



が、自己流であったために、今回、長崎県立諫早農業高等学校太鼓部の皆さんに御指導していただきました。まさに「本物にふれる」とはこのことだと感じました。動作一つをとっても、太鼓の一音をとっても、私たちの心の奥まで響く演奏で、感動のあまり涙が出てきました。全身全霊を傾けて練習されてこられたこと



が、体中からほとぼしり出ているのを感じました。激しさの中にも笑顔があふれており、勇気をもたらしたような気がしました。子どもたちは、このパフォーマンスに間近でふれることによって、多くのことを感じ取ったものと思います。真剣に取り組むことの格好良さ、努力をすることの素晴らしさ、うまくなりたいという憧れ……。子どもたちには、机上で学ばせることも大切ですが、本物にふれさせ

感化することも大切であると改めて感じました。諫早農高の太鼓部の皆さん、本当にありがとうございました。これからもよろしく願いいたします。

### ☆ 2月の主な行事予定（再掲） 3のつく日は「えがおの日」

- 6日（火）イータイム
- 7日（水）薬物乱用防止教室（5・6年生）
- 9日（金）琴海中学校入学説明会〈6年生〉
- 11日（日）建国記念の日 12日（月）振替休日
- 15日（木）学校保健委員会
- 16日（金）授業参観 学級懇談会
- 19日（月）新入生説明会（校長室）
- 20日（火）給食費集金日～22日（木）
- 28日（水）きずな駅伝大会 10:35～11:40



学校の様子等については、大草小学校HPにも掲載しておりますので御覧ください。